

緑の相談所だより

{ 2, 3月号 ~1992.1.31 ~ 発行・編集 旭川市緑の相談所 }

講
習
会

春もあと一歩というところまできましたね。

『花は大好きだけど難しそう』という方は一度、緑の相談所の講習会にでてみてはいかがでしょうか。講師の先生がわかりやすく教えてくれますので、始めての方でも安心。参加料は無料、定員は60名で締め切らせて頂きます。なお、お申込み・お問い合わせは、

緑の相談所 ☎65-5553

ウメの花後の管理

日時/ 2月23日(日)午後1~3時
講師/ 小島博昭
(旭川市緑の相談所相談員)
内容/ 外へ出すまでの室内での管理の仕方

サギソウ

球根の植え方、育て方
日時/ 3月22日(日)
午後1~3時
講師/ 村田正一
(旭川市緑の相談所相談員)

庭木類の病虫害と管理

日時/ 3月8日(日)午後1~3時
講師/ 小島博昭
(旭川市緑の相談所相談員)
内容/ そろそろ病虫害の動き出す時期。発生時の対策など。

※球根一口、5球セットを当日実費でおわけします。

※当日自分で植える方は水苔、浅鉢を(4号くらい)お持ちください。なお、相談所にもあります。

季節の花 ことば

うめ...高潔, 忠実

中国から渡ってきたこの花は、中国にあこがれた昔の人の心とあいまって、万葉のころからたいへん広く愛されました。

東風吹かば 匂いおこせよ 梅の花

あるじなして 春な忘れそ

という菅原道真の歌は有名で、太宰府へ流された主人を慕って、梅が一夜にして九州に飛び移ったという「飛梅」の伝説が残っています。“忠実”という花ことばがうなづけるような逸話です。



神楽岡Q&Q

以外に知られていない神楽岡公園の
ルーツを探ってみます。

Q 神楽岡って昔から神楽岡なの？

…………… 神楽岡は、昔ナエオサニ、または
ハツツイウシなどと呼ばれていました。

Q フーン、そのナエオサニ、ハツツイ
ウシってどういう意味なの？

…………… それはアイヌ語でナエオサニとは
「沢が・そこへ・出てくるところ」つまり沢
の出口の意味です。



Q そんな昔からあるのなら伝説なんてあるの？

…………… むかし、神楽岡でチュップカムイ（日の神）、ホロケウノカムイ（オオカミ
の神）、そのほかのカムイ（神）たちが集まって歌やおどりをした時、アイヌの先祖が
イナウ（ごへい）を作ってさしあげたところ、神様方は大いに喜んでカムイユーカラを
教え、手拍子そろえておどってみせました。アイヌの人たちも、それにうかれて足拍子
もかるくウボボを唱えて、ここで大いに楽しんだということです。この地を神楽の場と
いう意味からハツツイウシというようになりました。

押し花 キャン ドル

少し大きめのローソクと押し花で、おしゃれなオリジナルキャンドルの
出来上がり！お部屋に飾ればちょっと素敵なインテリアにもなります。
あなたも挑戦してみてはいかがでしょうか。

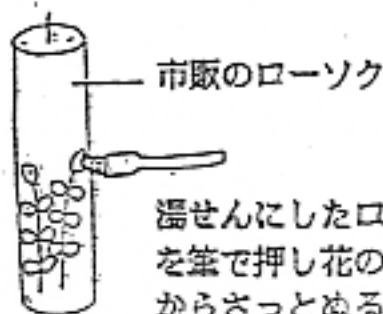
押し花の作り方

- ①なるべく押しやすい、新鮮な素材を選ぶ。
- ②素材を雑誌にはさんで軽い重石をする。（4～6時間）
- ③加圧器などで素材を押します。
- ④乾燥剤（シリカゲル）といっしょに保管する。

押し花キャンドルの作り方

押し花をキャンドルにはりつける

細かくしたロウを
湯せんで溶かす。



鉢植えウメの花後管理

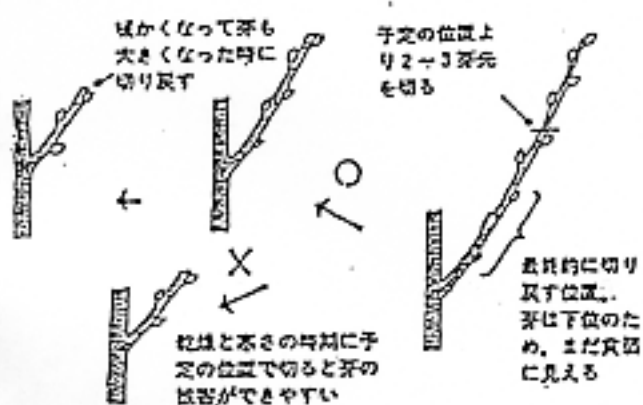
★ 花が終わったら

花が咲き終わりはじめたものは、花がらを摘みとります。花が完全に咲き終わったら鉢土の凍らない程度の温度の低い場所で管理し、葉芽を容易に伸ばさせないようにすることが大切です。

★ 切り戻し剪定

花が完全に咲き終わったものは切り戻し剪定をします。切り戻し剪定は伸ばそうとする芽の2~3芽先の外芽のところで切り戻します。枝垂れ性のウメは同じ方法で内芽を切り戻します。

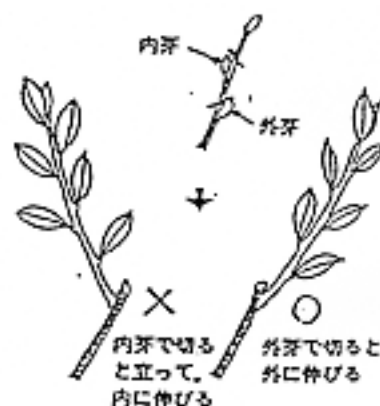
切り戻しのポイント



枝垂れ性のウメ

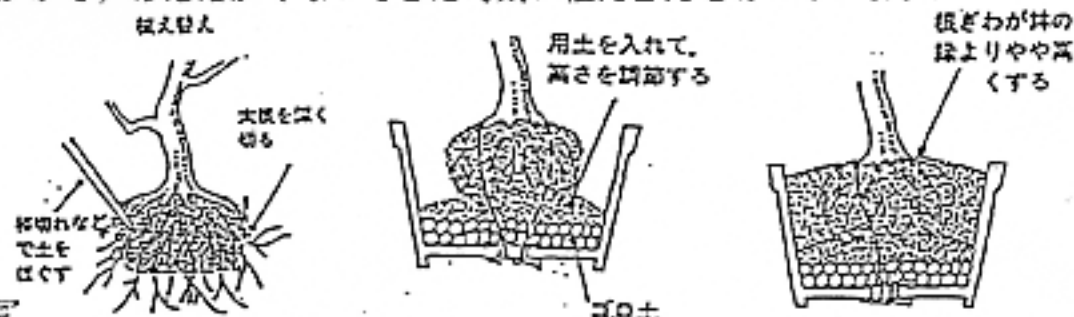


切り詰めづくりのウメ



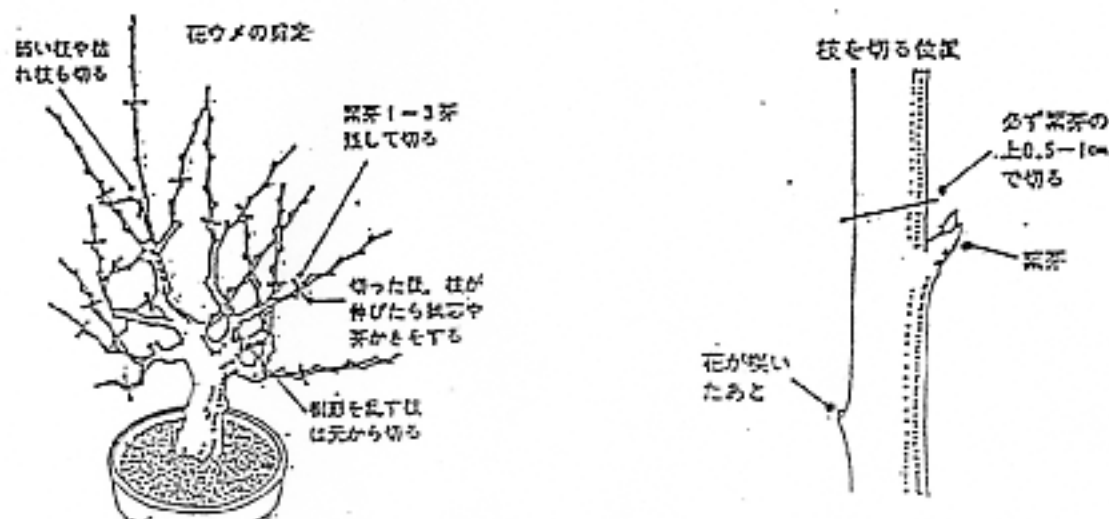
★ 植え替え

鉢土の固くしまってきたものは通気性、樹勢回復のために2年に1回くらいをめぐりに4月中~下にかけて、あたたかくなってきた時期に植え替えをおこないます。



★ 剪定

あたたかくなった植え替えの時期におこないます。樹形を考えながら枯れ枝、交差枝などの不要枝を切り、前年枝の2~3芽をのこして剪定します。



《2月3月は季節の変わり目》

◇2月は低温に注意

気温の変動の大きい時ですから寒さに弱いものは気をつけましょう。特にファレノプス（コチョウラン）、カトレヤ、ポインセチヤ、ディフェンバキア、セントボリヤ、ハイビスカス、ベンジャミン、幸福の木などは寒さに合わせないようにしましょう。

日差しが強くなってきますからガラス越しの日光でも日焼けすることがあります。特にセントボリヤ、コチョウラン、ディフェンバキア、クンシランなどは日焼けしやすいのでレースのカーテン越しくらいの日当てるようにするといいでしょう。

◇3月は回復の兆しがみえる

日照の回復、気温のゆるみから長い冬を耐えていた植物たちも新芽を伸ばし始めるものもあります。新芽が伸び始めたら水やりの回数を増やし、液肥も与えて力をつけてやりましょう。肥料はカリ、磷酸分の多いものが間伸びせず固く育ちます。

◇観葉植物

葉がよごれていると機嫌が悪くなります。暖かい日に浴室でシャワーを浴びせ、葉のほこりを洗い流してやりましょう。その後、鉢の水しろいっぱいに入水を入れ鉢底から水をどっと流し出します。水が抜けたら再び水を入れ3回くらい繰り返すと鉢土の不用物が洗い流され、根に活力がつかます。弱りぎみの木には1000倍の液肥を霧吹きで葉全体に週2回くらいかけてやると元気を回復します。

◇草花、花木など

花がいたんだらそのつど咲きがらと実や種を摘み取ります。実や種をつけると体力を消耗するからです。

つきつきと花を咲かせているものには1000倍の液肥を週1回与えてやりましょう。シクラメンやアザレヤの花が終わったものも同じように与えておきます。

◇シンビジウム、春先の手入れ

葉ばかり茂って花が全く付かないという話を多く聞きます。来年も花を付けるためにはこの2～3月が手入れのスタートです。

春、新芽がバルブ（株元のふくらんだ所）の元から出てきますが、これが秋までに大きく育たないと花芽がつかえません。新芽を早く伸ばし育てるためにまずつぎのことに気をつけてください。

①新芽を早く出させるために、てっぺんの花が咲いたら早めに花茎の元で切り取って花瓶にさして眺めましょう。いつまでも付けておくと株が弱ります。その後鉢は日光のよく当たる暖かい所に置き、新芽の動きを早めてやりましょう。

②新芽は何本も出てきますがバルブを太らせるために1バルブに1本、鉢全体で3本だけ残しあとは早めに欠きとってしまいます。新芽が伸び始めたら日光、水を十分に、週1回の液肥も与えてください。

③鉢の縁までいっぱいになっており、新バルブの太る余裕がないものは鉢替えします。鉢から抜いて根をくずさずに1回りか2回り大きな鉢に入れ、回りの隙間に市販の洋ラン用の用土をしっかりと詰めます。3月から遅くとも4月上旬までに行います。

④バルブが8個以上も付いて大株になったものは株分けして植え替えますが、詳しくは相談所にご相談ください。